

グループ発表の内容（第5回 絆研修② 令和2年12月13日）

◇グループワーク①

現状の問題点とその対策について。

- ・スタッフの思いを確認した方が良い。話し合いによっては方針が変わることもあるので、カンファレンスを開催する。カンファレンスには本人、家族を含めての話し合いが必要。方針、スタッフと本人・家族で意向が異なっていることがないか、優先順位、具体的な本人の思い、急変時の対応等の確認。
- ・今後、内服ができなくなるかもしれないので、カンファレンスで本人の意向確認を。胃ろうにするのか？他の方法を検討するのか？
- ・本人、妻、家族の認識と医師、医療職の認識のずれがあるため、認識を共有することが必要。例えばケアマネが受診に同行し、病状説明は医師にさせていただく。補足を看護師やケアマネが行う。
- ・妻の身体機能の状態もあり、介護負担の増大が心配。担当者会議等で介護量の調整が必要ではないか。栄養、摂食、嚥下についても病院での評価を。リハビリテーションでは身体機能面でのすり合わせが必要。
- ・本人、家族、支援者を含めた担当者会議で施設入所も視野に入れたサービスの見直しと検討を行う。
- ・本人は在宅希望、長男は妻の負担を心配しており、家族内での意見が異なる。都度話し合いが必要であるが、まずは信頼関係が第一。家族一人一人に話を聞き気持ちを確認する際は、一人ずつが良いのか一緒に良いのか等は適宜調整しながら進める。
- ・急変時のシビアな話について、その意思確認については、医師から口火を切ってもらうのがスムーズではないか。家族間の思いが統一できていないので、状況を見極めながら会議を行うことが大切。

◇グループワーク②

将来、事故や病気などで身の回りの事（食べることも含め）ができなくなり、自分の考えを伝えられなくなった時に、あなたならどのようにしてほしいですか？。

- ・家族に迷惑をかけたくない。穏やかに過ごしたい。意志が伝えられない、五感が失われてきたら自然なかたちが良い。
- ・自分の気持ちを家族に伝えておく。
- ・自分の大切にしている人や場所で安心して暮らしたい。
- ・その時の状況で病院を選択するかも。
- ・自分がどうしたいか、常に伝えている。家族でも話し合っている。

大切なご家族がこのようになった場合、どのようにしてあげたいですか？

- ・家族は大事なので、日常の中にいてほしい。例えば、夫であればできる範囲で介護をするかな...でも両親なら自宅でみることができるだろうか...。子供だと本人の意向より親の意向が強くなるかも。その時々で気持ちも変わるので、都度話をする。家族といえども信頼関係が大事。チャンスをとらえて色々な話を。家族の中の誰かが最期を決めたということにならないよう、家族の意向を共有する。
- ・施設で安心できれば良い。面会にはたくさん行く。
- ・対象者や介護する側（仕事をしているかどうか）で変わる。
- ・意向を聞くタイミングは誕生日に聞くのはどうか。マイナスイメージではなく、「100歳までの抱負は？」といったような聞き方。
- ・話し合える家族の関係づくりを普段から作りたい。
- ・一人で抱え込んでしまうかも。近くに相談できる人がいないと困るかな。上手に第三者へ介入してもらったり、専門職がそんな存在になれるのかも。